

2020年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年7月30日

上場会社名 株式会社ポーラ・オルビスホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 4927 URL https://www.po-holdings.co.jp/
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鈴木 郷史
 問合せ先責任者(役職名) 取締役財務担当 (氏名) 藤井 彰 (TEL) 03-3563-5517
 四半期報告書提出予定日 2020年8月14日 配当支払開始予定日 2020年9月7日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第2四半期の連結業績(2020年1月1日~2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第2四半期	83,802	△24.0	5,881	△63.8	4,543	△70.8	916	△90.8
2019年12月期第2四半期	110,247	△12.0	16,236	△29.7	15,561	△31.5	9,938	△35.1

(注) 包括利益 2020年12月期第2四半期 850百万円(△91.6%) 2019年12月期第2四半期 10,171百万円(△29.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第2四半期	4.14	4.14
2019年12月期第2四半期	44.93	44.88

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年12月期第2四半期	206,733	173,989	84.0	784.74
2019年12月期	227,256	191,069	83.9	862.00

(参考) 自己資本 2020年12月期第2四半期 173,599百万円 2019年12月期 190,690百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	35.00	—	81.00	116.00
2020年12月期	—	35.00	—	—	—
2020年12月期(予想)	—	—	—	45.00	80.00

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年12月期の連結業績予想(2020年1月1日~2020年12月31日)

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	190,000	△13.6	19,000	△39.0	16,500	△46.1	8,400	△57.3	37.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 -社(社名) 、除外 -社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年12月期2Q	229,136,156株	2019年12月期	229,136,156株
② 期末自己株式数	2020年12月期2Q	7,916,253株	2019年12月期	7,916,253株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年12月期2Q	221,219,903株	2019年12月期2Q	221,187,074株

(注) 2020年12月期2Qの期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式数には、役員報酬BIP信託が保有する当社株式(148,600株)が含まれております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は経済情勢等様々な不確定要因により、これらの予想数値と異なる場合があります。業績予想に関する事項は、【添付資料】P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報)	10
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（2020年1月1日～2020年6月30日）におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の拡大による外出自粛・休業要請等に加え、4月の緊急事態宣言の発出の影響により経済活動が著しく制約を受けた影響で、景気が急速に減退し極めて厳しい状況となりました。

国内化粧品市場においては、消費税率引き上げ後の個人消費の弱さが残るなか、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴うインバウンド需要の大幅減少や、店舗休業や外出自粛等の要請を受けた消費マインドの低下が見られ、緊急事態宣言の解除後も足元の景気は先行き不透明な状況が続いております。海外化粧品市場においても、世界規模で拡大する新型コロナウイルス感染症の影響等により、先行き不透明な状態が続いておりますが、中国市場では経済活動の再開により消費が戻りつつあります。

このような市場環境のもと、2017年からスタートした4ヶ年中期経営計画（2017年から2020年）に基づき、国内のさらなる収益性向上と海外事業での黒字化、次世代の成長ブランド創出を達成すべく、取り組みを進めてまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における業績は次のとおりとなりました。

当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比24.0%減の83,802百万円となりました。営業利益は売上高減による売上総利益減少により、前年同期比63.8%減の5,881百万円、為替差損等の営業外費用を計上したことにより経常利益は前年同期比70.8%減の4,543百万円となりました。以上の結果に加え、新型コロナウイルス感染症の拡大による緊急事態宣言を受けて実施した臨時休業に伴う費用を特別損失に計上した影響により、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比90.8%減の916百万円となりました。

〔業績の概要〕

	前第2四半期 連結累計期間 (百万円)	当第2四半期 連結累計期間 (百万円)	前年同期	
			増減額 (百万円)	増減率 (%)
売上高	110,247	83,802	△26,445	△24.0
営業利益	16,236	5,881	△10,354	△63.8
経常利益	15,561	4,543	△11,017	△70.8
親会社株主に帰属する 四半期純利益	9,938	916	△9,022	△90.8

〔セグメント別の業績〕

売上高（外部顧客への売上高）

	前第2四半期 連結累計期間 (百万円)	当第2四半期 連結累計期間 (百万円)	前年同期	
			増減額 (百万円)	増減率 (%)
ビューティケア事業	107,733	81,401	△26,332	△24.4
不動産事業	1,319	1,225	△94	△7.1
その他	1,194	1,175	△18	△1.6
合計	110,247	83,802	△26,445	△24.0

セグメント利益又は損失(△) (営業利益又は損失(△))

	前第2四半期 連結累計期間 (百万円)	当第2四半期 連結累計期間 (百万円)	前年同期	
			増減額 (百万円)	増減率 (%)
ビューティケア事業	15,682	5,290	△10,392	△66.3
不動産事業	573	503	△70	△12.2
その他	85	14	△70	△82.6
セグメント利益の調整額 (注)	△105	72	177	—
合計	16,236	5,881	△10,354	△63.8

(注) セグメント利益の調整額とは、グループの内部取引に伴う利益及びセグメントに含まれない経費などを連結時に消去・加算した金額であります。なお、セグメント利益の調整額の詳細につきましては、P.10～11「1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報(注2)」をご覧ください。

(ビューティケア事業)

ビューティケア事業は、基幹ブランドとして「POLA」「ORBIS」を、海外ブランドとして「Jurlique」「H2O PLUS」を、育成ブランドとして「THREE」「DECENCIA」「Amplitude」「ITRIM」「FIVEISM×THREE」を展開しております。

POLAブランドでは、市場からのニーズが高いエイジングケア・美白を中心とした高付加価値商品の投入、ならびに基本活動であるカウンセリング・エステに注力することで、継続率の高い顧客の獲得を目指し、インバウンド需要の減速に対策を講じております。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の拡大により、国内外におけるエステ店・百貨店等での対面接客に、一部制限がある状態が続いております。一方で、「新しい生活様式」において、顧客との出会いやつながりの可能性をさらに広げるために、国内では首都圏を中心にオンラインカウンセリングを開始し、今後は全国展開を進めてまいります。海外では主に中国で消費が戻りつつあるため、積極的に出店を拡大しております。また、ECチャネルを国内外ともに強化しており、スキンケアの新規顧客獲得と売上が拡大しております。オンライン・オフラインの活動を活性化し、再成長を目指しておりますが、POLAブランドは前年同期を下回る売上高・営業利益となりました。

ORBISブランドでは、高収益事業へと再成長を遂げるため、ブランド差別性の創出による存在感の向上に取り組んでおります。ブランドメッセージ「ここちを美しく。」の世界観を体現する商品を中心としたコミュニケーションや、一貫した市場発信を強化しております。エイジングスキンケアシリーズ「オルビスユー」や、肌への機能が確認された特定保健用食品「オルビス ディフェンセラ」に加えて、2月に発売した第3の象徴商品のクレンジング「オルビス オフクリーム」が、新規顧客の獲得に貢献しております。また、アジア圏における顧客接点の拡大によるブランド認知率の向上に取り組んでおります。一方で、戦略的に顧客ターゲットの絞り込みに取り組んだ結果、既存顧客が減少しました。また、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響が生じてからは、「新しい生活様式」を見据え、主にスマートフォンアプリを活用したECチャネルへの誘導や、オンラインカウンセリングによる商品提案に積極的に取り組んでおりますが、店舗の臨時休業等の対応が生じた結果、ORBISブランドは前年同期を下回る売上高となりました。費用面では、顧客構造が良化し、販促効率が向上したため、前年同期を上回る営業利益となりました。

海外ブランドについては、Jurliqueブランドは豪州とアジア、H2O PLUSブランドは本拠地である米国での事業成長を目指した取り組みを行っております。Jurliqueブランドは、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響が生じてからは、豪州の直営店や大手百貨店の営業停止や、各国の海外渡航制限の継続によってトラベルリテールでの営業活動が大幅に制限されました。自社ECチャネルの売上伸長や中国、香港における営業活動の回復がありましたが、グローバルでの事業活動に多大な影響を受けた結果、前年同期を下回る売上高となりました。費用面では販管費の縮小や固定費の削減に積極的に取り組んだ結果、営業損失が縮小する結果となりました。H2O PLUSブランドは、ECチャネルの強化を図るべく、オルビス社による全面的なサポート体制のもと新たなEC戦略を実行しております。SNSの活用による新ブランドコンセプト「CLEAN J-BEAUTY」のブランディングを推し進め、ブランド認知と新規顧客の拡大に取り組んでおります。新型コロナウイルス感染症の拡大による影響で、アライアンスパートナーの長期休業によりホテル向けアメニティの出荷が減少し、前年同期を下回る売上高となりましたが、販管費の削減に積極的に取り組んだため、営業損失が縮小する結果となりました。

育成ブランドについては、DECENCIAブランドの新商品による新規顧客獲得の好調や、2018年にローンチしたAmplitudeブランド、ITRIMブランド、FIVEISM×THREEブランドの売上成長がありましたが、THREEブランドにおける新型コロナウイルス感染症の拡大による売上減少の影響が大きく、前年同期を下回る売上高・営業利益となりました。

以上の結果、売上高（外部顧客に対する売上高）は81,401百万円（前年同期比24.4%減）、営業利益は5,290百万円（前年同期比66.3%減）となりました。

（不動産事業）

不動産事業では、都市部のオフィスビル賃貸を中心に、魅力的なオフィス環境の整備による賃料の維持向上と空室率の低下に取り組むとともに、子育て支援に特化した賃貸マンション事業も展開しております。当第2四半期連結累計期間は、一部テナントの退去の発生により、前年同期を下回る売上高・営業利益となりました。

以上の結果、売上高（外部顧客に対する売上高）は1,225百万円（前年同期比7.1%減）、営業利益は503百万円（前年同期比12.2%減）となりました。

（その他）

その他に含まれている事業は、ビルメンテナンス事業であります。

ビルメンテナンス事業は、主にビルの運営管理を行っております。当第2四半期連結累計期間は、工事受注減少により、前年同期を下回る売上高・営業利益となりました。

以上の結果、売上高（外部顧客に対する売上高）は1,175百万円（前年同期比1.6%減）、営業利益は14百万円（前年同期比82.6%減）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ20,523百万円減少し、206,733百万円（前連結会計年度末比9.0%減）となりました。主な増減項目は、余剰資金の運用による有価証券の増加382百万円、商品及び製品の増加1,439百万円、ソフトウェアの増加795百万円により増加し、一方で現金及び預金の減少13,643百万円、受取手形及び売掛金の減少6,138百万円により減少しております。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ3,442百万円減少し、32,743百万円（前連結会計年度末比9.5%減）となりました。主な増減項目は、支払手形及び買掛金の減少294百万円、未払金の減少に伴う流動負債「その他」の減少2,120百万円、未払法人税等の減少377百万円により減少しております。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ17,080百万円減少し、173,989百万円（前連結会計年度末比8.9%減）となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上916百万円により増加し、一方で剰余金の配当17,930百万円により減少しております。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2020年4月28日に発表しました業績予想に変更はありません。

(参考情報)

前期累計期間実績

	第 1 四 半 期	第 2 四 半 期	第 3 四 半 期	第 4 四 半 期
売上高	百万円 52,440	百万円 110,247	百万円 165,530	百万円 219,920
営業利益	6,773	16,236	25,411	31,137
経常利益	6,525	15,561	24,370	30,630
親会社株主に帰属する 四半期純利益	4,157	9,938	15,898	19,694

前期会計期間実績

	第 1 四 半 期	第 2 四 半 期	第 3 四 半 期	第 4 四 半 期
売上高	百万円 52,440	百万円 57,806	百万円 55,282	百万円 54,390
営業利益	6,773	9,462	9,175	5,725
経常利益	6,525	9,035	8,809	6,259
親会社株主に帰属する 四半期純利益	4,157	5,781	5,959	3,796

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	66,548	52,904
受取手形及び売掛金	21,624	15,485
有価証券	24,518	24,901
商品及び製品	13,684	15,124
仕掛品	853	843
原材料及び貯蔵品	5,163	5,485
その他	11,617	7,198
貸倒引当金	△1,074	△25
流動資産合計	142,935	121,918
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	17,866	17,372
土地	14,094	14,082
その他（純額）	12,026	11,495
有形固定資産合計	43,987	42,950
無形固定資産		
商標権	31	30
ソフトウェア	8,019	8,814
その他	98	97
無形固定資産合計	8,149	8,942
投資その他の資産		
投資有価証券	20,301	20,271
その他	12,056	12,868
貸倒引当金	△173	△217
投資その他の資産合計	32,184	32,922
固定資産合計	84,320	84,814
資産合計	227,256	206,733

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,129	2,834
未払法人税等	1,374	996
賞与引当金	1,490	1,172
ポイント引当金	2,872	2,498
その他の引当金	98	91
その他	17,657	15,537
流動負債合計	26,621	23,130
固定負債		
その他の引当金	88	106
退職給付に係る負債	3,872	4,001
資産除去債務	2,153	2,158
その他	3,449	3,346
固定負債合計	9,564	9,613
負債合計	36,186	32,743
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,000	10,000
資本剰余金	80,785	80,785
利益剰余金	100,915	83,900
自己株式	△2,652	△2,652
株主資本合計	189,047	172,033
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△62	△183
為替換算調整勘定	2,047	2,148
退職給付に係る調整累計額	△341	△398
その他の包括利益累計額合計	1,643	1,566
新株予約権	243	243
非支配株主持分	134	146
純資産合計	191,069	173,989
負債純資産合計	227,256	206,733

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年6月30日)
売上高	110,247	83,802
売上原価	16,921	13,567
売上総利益	93,326	70,234
販売費及び一般管理費		
販売手数料	24,947	18,842
販売促進費	10,521	8,383
広告宣伝費	6,141	4,720
給料手当及び賞与	10,437	9,758
賞与引当金繰入額	953	863
ポイント引当金繰入額	2,971	2,087
その他	21,116	19,697
販売費及び一般管理費合計	77,089	64,353
営業利益	16,236	5,881
営業外収益		
受取利息	98	93
その他	120	113
営業外収益合計	218	206
営業外費用		
支払利息	42	44
投資有価証券売却損	—	367
投資有価証券評価損	240	—
為替差損	436	433
支払補償費	103	624
その他	71	74
営業外費用合計	894	1,544
経常利益	15,561	4,543
特別利益		
補助金収入	—	40
その他	0	2
特別利益合計	0	43
特別損失		
固定資産除却損	111	117
減損損失	0	643
投資有価証券評価損	—	80
新型コロナウイルス感染症関連損失	—	1,232
その他	2	3
特別損失合計	114	2,077
税金等調整前四半期純利益	15,446	2,509
法人税、住民税及び事業税	3,470	2,141
法人税等調整額	2,038	△560
法人税等合計	5,509	1,581
四半期純利益	9,937	928
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1	11
親会社株主に帰属する四半期純利益	9,938	916

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	9,937	928
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△76	△121
為替換算調整勘定	59	100
退職給付に係る調整額	252	△56
その他の包括利益合計	234	△77
四半期包括利益	10,171	850
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,176	839
非支配株主に係る四半期包括利益	△4	11

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ビューティク ア事業	不動産事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	107,733	1,319	109,053	1,194	110,247	—	110,247
セグメント間の内部 売上高又は振替高	38	249	287	1,094	1,382	△1,382	—
計	107,772	1,569	109,341	2,288	111,629	△1,382	110,247
セグメント利益	15,682	573	16,256	85	16,341	△105	16,236

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ビルメンテナンス事業であります。なお、「その他」を構成していた医薬品事業については、当社の保有する株式会社ポーラファルマの全株式を2019年1月1日付で譲渡したことに伴い、連結の範囲から除外しております。

2 セグメント利益の調整額△105百万円には、セグメント間取引消去1,865百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,970百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない当社本社の管理部門に係る費用等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自2020年1月1日至2020年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	ビューティケ ア事業	不動産事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	81,401	1,225	82,626	1,175	83,802	—	83,802
セグメント間の内部 売上高又は振替高	48	260	308	825	1,134	△1,134	—
計	81,449	1,485	82,935	2,001	84,936	△1,134	83,802
セグメント利益	5,290	503	5,793	14	5,808	72	5,881

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ビルメンテナンス事業であります。

2 セグメント利益の調整額72百万円には、セグメント間取引消去1,946百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,874百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない当社本社の管理部門に係る費用等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。